

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2026年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技者の招集について

(1) 招集所は室内練習場に設置する。

(2) 招集時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 20分前
フィールド競技	競技開始 40分前	競技開始 30分前
※棒 高 跳	競技開始 70分前	競技開始 60分前

(3) 招集の手順

- ①競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク・衣類および競技場内への持ち込み物品等の確認を受けた後、係員の誘導に従って入場すること。
- ②個人種目とリレーに出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合は、あらかじめ本人が二種目同時出場届(競技者係備え付け)を添えて申し出たうえで、招集は代理人により行うこと。
- ③四種競技出場者の招集についても同様の要領で行う。
- ④リレーの招集は、予選・決勝ともに4人そろって点呼を受ける。ただし、個人種目と重なるため、点呼が受けられない場合は、(3)②に従い点呼を受けること。
- ⑤競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、招集開始時刻までに各府県の監督がその旨を競技者係に欠場願(競技者係備え付け)を添えて申し出ること。
四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。 [TR39.10]
- ⑥フィールド競技において競技者がリレー競技と競技時間が重なる場合には、審判長は1ラウンドに一度、走高跳・棒高跳では各試技に一度、競技会に先立って決めた順序によらないで、その試技を許すことができる。 [TR4.3]
- ⑦招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。

3. 競技運営について

- (1)トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) (着順ではなく)時間を元にして TR20.3.2 によるランキング順位が同じ場合、写真判定主任は 0.001 秒の実時間を考慮する。それでも同じならば同成績とし、ランキング順位を決める抽選を行う。 [TR21.2]
- (3) TR21.1 を適用しても、着順による最後の1枠を決めるにあたり同成績がある場合、空きレーンがあるか、走る場所がある(800m競走でレーンに複数割り当てられる場合を含む)のであれば、同成績者は次ラウンドに進めるようにしなければならない。不可能ならば次ラウンドへの進出者は、抽選により決める。 [TR21.3]
- (4)競技者は完全かつ最終的なスタートの姿勢を取った後、信号器の発射音を聞くまでスタートを開始してはならない。競技者が少しでも早くスタートを開始したとスターターが判断した場合は、不正スタートとなる。 [TR16.7]
- (5)一度の不正スタートでも責任を有する競技者は、スターターにより失格となる。ただし、混成競技に限り、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格となる。 [TR16.8]
- (6)リレー競技においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用すること。 [TR5.1(国内)]
ただし、デザインや配色が同一であれば、選手によりユニフォームのタイプを選択することができる。
- (7)リレー競技を行う場合、最大 50mm×400mm で他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーン内に貼ることが許される。 [TR24.4]
ただし、使用する粘着テープは養生テープに限る。
- (8)リレー・チームの編成は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻(その時間までに競技者が招集所にいなければならない時刻)の1時間前までに、正式に招集所に申告しなければならない。 [TR.24.11]
- (9)リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。 [TR.24.10(国内)]
- (10)低学年リレーの走順は、2年 → 1年 → 1年 → 2年とする。
- (11)スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。また、主催者側が認めた区域に限り、当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画されたそれ以前の試技の映像を見ることが認められる。その区域をフィールド競技におけるコーチ席付近に設ける。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしても良い。また、ビデオ装置・レコーダー・トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することや文書をもって連絡することは、助力とみなし許可しない。 [TR6.3.2、6.4.5]

- (12) 短距離走では競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。マーンシャルの誘導により、スタート地点に戻る。本部前の通行は一切禁止する。
- (13) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (14) 助走路が使われるフィールド競技では走高跳を除いて、マーカーは助走路の外側に置かなければならない。競技者は助走や踏切をしやすくするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を2個まで使用することができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用することができる。〔TR25.3.1〕
- (15) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1個だけ使用することができる。〔TR25.3.2〕
- (16) 選手の変更については、申し込み以降大会当日までに不測の事情により出場が不可能になった選手が出た場合、その旨を委員長会議（当日の監督会議30分前）で承認後、監督会議で了承を得ることを原則とする。それ以降の突発的の事故等が発生した場合は、緊急の委員長会議で承認することがある。
- (17) 競技者は競技中、胸と背にははっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はプログラムに記載のものと同一番号でなければならない。腰ナンバー標識は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方につけること。〔TR5.7〕
- (18) 抗議はTR8に従い、各府県監督を通じて行うこと。
- (19) 競技靴はTR5および日本中体連陸上競技部に従うこと。
近畿大会においては、スパイクシューズとフィールドシューズの靴底計測は実施しない。
全天候舗装用スパイクのピンを使用し、トラック競技は9mm以下、フィールド競技は12mm以下のピンを使用すること。ニードルピンの使用は可とする。
- (20) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種 目	性 別	練 習			競 技			
走 高 跳	男 子	1m60		1m75	1m65 ～ 1m85	5cm ずつ	1m85 以上	3cm ずつ
	女 子	1m35		1m50	1m40 ～ 1m50	5cm ずつ	1m50 以上	3cm ずつ
棒 高 跳	男 子	3m20	3m60	4m00	3m20 ～ 3m60	20cm ずつ	3m60 以上	10cm ずつ
	女 子	2m00	2m40	2m80	2m00 ～ 2m40	20cm ずつ	2m60 以上	10cm ずつ
四種競技 (走高跳)	男 子	1m40		1m60	1m45 ～ 1m75	5cm ずつ	1m75 以上	3cm ずつ
	女 子	1m15		1m35	1m20 ～ 1m40	5cm ずつ	1m40 以上	3cm ずつ

① 走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。

② ジャンプオフは当該競技者が最後に越えた高さの TR26.1 によって上げた次の高さから始まる。

バーの上げ下げの幅は走高跳が2cm、棒高跳が5cmとする。〔TR26.3.4〕

4. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、競技場備え付けのものを使用する。また、練習用としても個人の用器具を競技場内外に持ち込んで서는ならない。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。個人所有のポールは、競技開始前にピットにおいて競技役員の検査を受け、合格したもののみ許可する。

5. 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者は、トラック競技はゴール後、荷物を取りに戻った後、フィールド競技は競技終了後、競技役員の指示により本部席（表彰者待機場所）に集合すること。不都合な場合は、必ず代理人を出すこと。
- (2) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点 ～ 7位2点、8位1点とする。

6. 商標について〔競技場内における広告・展示物等の規則について〕

競技場内に商標名のついた衣類・バッグなどを持ち込む場合、以下の規定を守ること。

- (1) 衣類等の規則（製造会社名/ロゴ等）

- 学校名/ロゴ ・上衣は前後に1つずつ。下衣は1つのみとし、大きさは問わない。
- スポンサー名/ロゴ ・上下1つずつで場所は問わない。上下全く同一のものでなければならない。
・40 cm²、高さ 5cm
・学校名单体は不可
- 製造会社名/ロゴ ・上下1つずつ、場所は問わない。40 cm²、高さ 5cm

- (2) 衣類以外の規則（製造会社名/ロゴ等）

ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）

- ・製造会社名/ロゴ 1個 “1個”最大6cm²まで（高さ3cm）

メガネ・サングラス

- ・製造会社名/ロゴ 2個 “1個”最大6cm²まで（高さ3cm）

バッグ・タオル（ブランケット含む）

- ① 製造会社名/ロゴ 1個 “1個”最大 40cm²まで（高さ5cm）

②競技者スポンサー名/ロゴ 2個 “1個”最大 40cm²まで(高さ5cm)

③競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ

7. 練習について

(1) ウォームアップ場は、室内練習場、補助競技場(運動場)とする。本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。

(2) 補助競技場を使用できるのは出場選手のみとする。

(3) 練習時間は下記のとおりとする。許可された時間帯で練習を行うこと。

会 場	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)
本競技場	13:00～16:00	7:30～ 9:30	7:30～ 9:15
室内練習場 補助競技場	13:00～16:00	7:30～15:30	7:30～15:00

(4) トラック競技…大会期間中の練習レーンは、下記のとおりとする。各レーンとも順走し、逆走してはいけない。

本競技場 1～8 レーン	ホームストレート	1～2レーン	中長距離	
		3～4レーン	スタートダッシュ	スタブロ設置
		5～6レーン	100mH 5台	スタブロ設置
		7～8レーン	110mH 5台	スタブロ設置
	第1曲走路～バックストレート ～第2曲走路	1～2レーン	中長距離	
		3～8レーン※	リレー 短距離	
室内練習場 1～7 レーン	※3レーン:スタート位置に 戻るための通路とする	1～2レーン	短距離	スタブロ設置
		4レーン	100mH 5台	スタブロ設置
		5レーン	110mH 5台	スタブロ設置
		6～7レーン 中央より南側	ドリル系	
補助競技場	東エアトラック内	1～2レーン	中長距離ドリル系	
		3～5レーン	スタートダッシュ	スタブロ設置
		6～8レーン	リレーバトン	
		9レーン	100mH 5台	スタブロ設置
		10レーン	110mH 5台	スタブロ設置
	東エアトラック	中長距離【ジョギング:左側通行とし、折り返しは時計回りとする】		

※事故防止のため、本競技場において3レーンから外側のレーンでは、第2曲走路からホームストレートに走り込むことを禁止する。

(5) フィールド競技…大会期間中の練習場所は、下記のとおりとする。

会場	練習場所	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)
本競技場	第1曲走路内	走高跳(2ピット)	走高跳(2ピット)	走高跳
	第2曲走路内	砲丸投 ※時間指定有 円盤投 ※時間指定有	砲丸投 ※時間指定有 円盤投 (サークルのみ)	砲丸投 ※時間指定有
	A・Bピット(ホーム側)	走幅跳	走幅跳	三段跳
	C ピット(バック側)	棒高跳	棒高跳	棒高跳
補助競技場	第2曲走路内	走高跳	走高跳	走高跳
	中央エリア	①投てき練習(メディシンボールのみ、砲丸・円盤×) ②棒高跳助走練習		
	第2曲走路内	円盤投(サークル練習のみ)		なし
	第2曲走路外	砲丸投(サークル練習のみ)		
	バック側ピット(北側)	走幅跳(助走のみ)	走幅跳(助走のみ)	なし
	バック側ピット(南側)	三段跳(助走のみ)	三段跳(助走のみ)	三段跳(助走のみ)

※砲丸投の時間指定

会 場	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)
本競技場	男子13:00～14:30 女子14:30～16:00	男子・女子ともに 7:30～9:00	男子・女子ともに 7:30～9:00
補助競技場	男子・女子ともに 13:00～16:00 ※サークルのみ	男子 9:50～11:10 女子11:50～13:10 ※サークルのみ	女子 8:00～ 9:20 男子11:00～12:20 ※サークルのみ

※円盤投の時間指定

会 場	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)
本競技場	男子13:00～14:30 女子14:30～16:00	男子・女子ともに 7:30～9:00 ※サークルのみ	なし
補助競技場	13:00～16:00 ※サークルのみ	男子 8:00～ 9:20 女子12:00～13:20 ※サークルのみ	なし

- ・各会場での練習は、注意事項を遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。
- ・天候やその他の事情により、時間・場所等を変更する場合がある。
- ・投てき練習(砲丸投)に関しては、必ず顧問の監督下で行うこと。砲丸は主催者側が用意したものを使用すること。

(6) 本競技場、室内練習場、補助競技場を含め競技場備え付けの用具(ポール、バトン、メディシンボールは除く)を使用すること。

- ①ハードルの練習を行う場合は、競技場備え付けのハードルを使用すること。
- ②ミニハードル、ラダー、投てき物等の個人持ち込みの器具の使用を禁止する。
- ③円盤投の練習は、指定された時間帯のみ投てきを認める。
- ④メディシンボールを持ち込んで練習は可能であるが、メディシンボールエリア内で使用すること。

(7) 本競技場および補助競技場以外の周辺道路での練習は、事故防止の観点から一切禁止する。

(8) 本競技場の芝生内への立入を禁止する。

8. その他

(1) 選手・役員以外は競技場内に立ち入る事はできない。

(2) 結果および次ラウンド(四種競技を含む)のスタートリストについては、本競技場入口付近にて掲示を行う。また、通告・速報サイトでも発表する。なお、競技結果が通告された時点を正式発表とする。

(3) 集団での応援について

メインスタンドでは、集団での大声での応援は一切禁止する。また、フィールド競技進行中やスタート前の大声での応援も自粛すること。

(4) 競技場スタンドでのテント・横断幕・のぼり等の設置について

- ①テントやターフの設置は、全スタンドとも中段通路より上部とする。ただし、センターポール左右20mの間は不可。テント、ターフを使用するときはロープ等が通路部分に絶対にはみ出さないように注意すること。
- ②横断幕・のぼりの設置は、全スタンド最上段部分のみ許可する(全スタンドとも前部・中段は禁止)。
- ③競技場に設置した横断幕、のぼり等は1日1日撤収すること。
- ④競技場に設置したテント等は競技場内に置いて帰ることはよいが、風で飛ばされないようにテントはたたみ、荷物はまとめておくこと。
- ④選手個人名が書かれた横断幕やのぼり旗の設置は、競技会における広告および展示物に関する規定により禁止されているので注意すること。
- ⑤競技場外でのテント設営や場所取りは一切認めない。

(5) 各団体の待機場所(場所取り)について

- ①各団体の設置するスペースは必要最小限とし、互いに譲り合って使用すること。
- ②各スタンドにコーチ席を設けるが、コーチがイス等をおいて居座ることは厳禁する。
- ③サイドスタンド下・後方エリアの場所取りは一切禁止する。
- ④ゴミは各自で持ち帰ること。
- ⑤待機場所の確保(場所取り)については、8月5日(水)12:00より可能とする。必ず、養生テープを使用すること。一度確保した場所は大会最終日まで有効とする。

(6) 記録証の交付を希望する者は、メインスタンド玄関前の TIC(記録証受付係)に申し出ること。

(有料 一部500円)

(7) 貴重品、衣類等は各自で管理し、盗難等に充分に注意すること。

(8) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。

(9) 本競技場の開門時刻

8月5日(水) 12:00 8月6日(木) 7:00 8月7日(金) 7:00

※本競技場には、正面玄関、北門、南門より入場できる。

(10) 補助競技場の開門時刻

8月5日(水) 13:00 8月6日(木) 7:30 8月7日(金) 7:30

※補助競技場には、南側入口より入場できる。

撮影規制について

本競技会においては、一般（選手、コーチ、大会関係者、保護者含む）の方の一眼レフカメラ、ビデオカメラ、デジタルカメラでの撮影を認めません。撮影許可証の発行也没有ですので、あらかじめご了承ください。

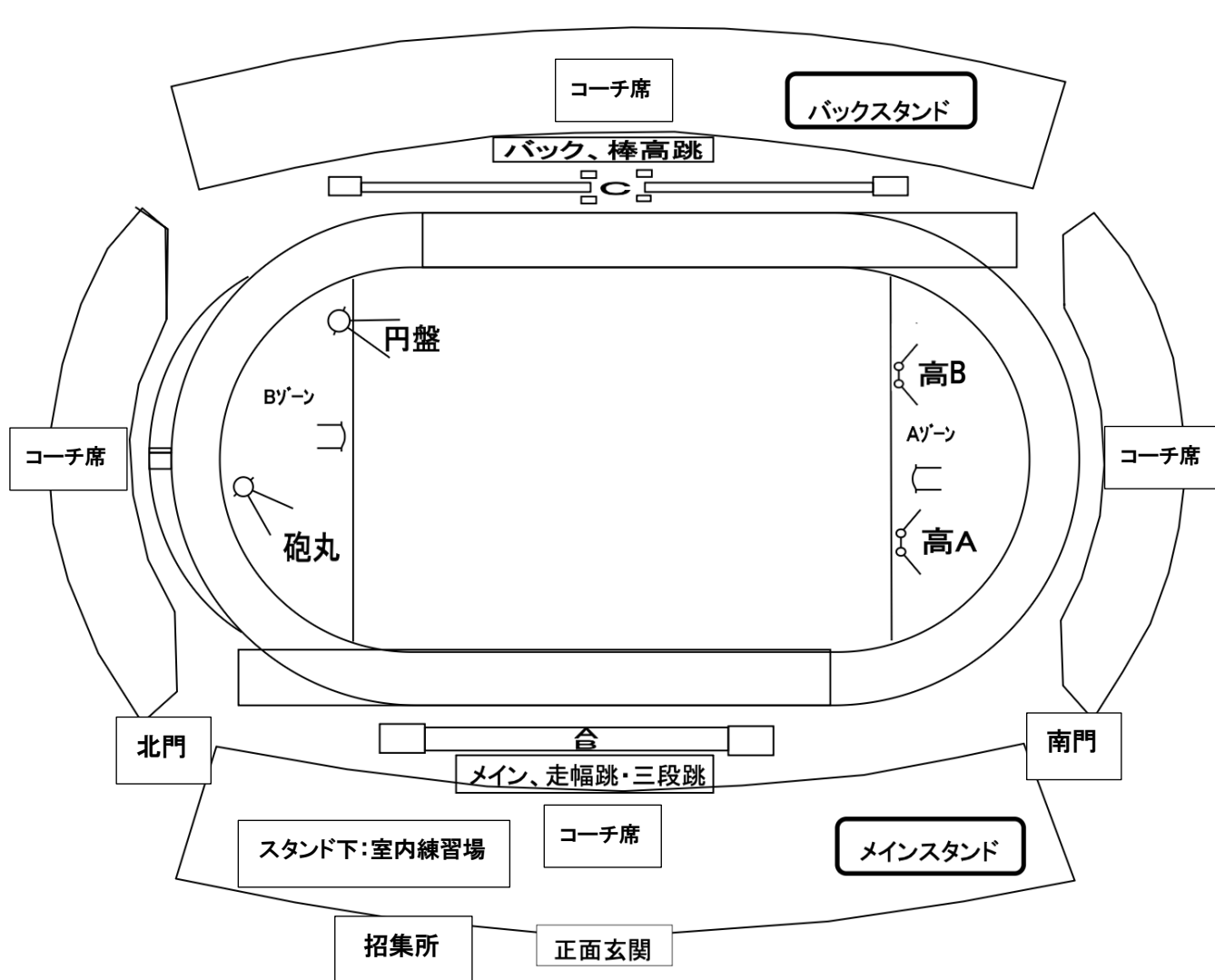
なお、中体連が許可した報道関係者は、大会本部が貸し出したビブスを着用しています。

また、スマートフォン・タブレットの撮影については、以下の①②を遵守してください。

①保護者の撮影は当該選手のみ可

②生徒の撮影は当該団体のみ可

競技場見取図



補助競技場見取図

